

鈴木商店調査書「帝國^{ビール}麦酒株式会社」(原書 P105～109)

福岡県^{きく}企救郡大黒町(原文ママ。正しくは“^{だいいりまち}大里町”)

設立 明治四十五年五月^{にじゅう}廿六日

目的 麦酒各酒類清涼飲料水製造販売

資本金 貳百萬円 払込金百五拾萬円也

投資額 四拾四萬円内外

重役氏名

専務取締役社長	隅田伊賀彦	取締役	関谷福太郎
取締役	岸 耕三郎	同	酒井丑松
同	平高寅太郎	監査役	福水治郎
監査役	石谷亀一	同	川合良男

会社の沿革 現況

同社は明治四十三年八月、牡丹^{ぼたん}麦酒株式会社と称し、山田弥八郎氏等有志の創設せる処なるが、一時経済界の不振なりしと中^{ちゅうしやうさんぶ}傷^{きず}讒^{さん}誣^う説を流布され、且^{かつ}払込金の大部は敷地、工場、機械類の設備に充当せしため資金不足を訴ふるに至り同四十五年、之を鈴木商店の経営に移したるものにして、創業当時の醸造能力は僅かに一萬五千石に過ぎざりしが、其^{その}の後^ご需要激増に伴い、増資の決行と共に新たに工場を増築し、大正三年度に於て五萬石の醸造能力を増加し、未だ数年を経ざる内に内外市場に^{さくら}櫻^{せい}ビール^いの^{かお}声^い価^い大に挙がり、現今にては七萬貳千石の多きに達せり。

而^{しかう}して、其^{その}販路は九州を中心として全国各地に亘り、満鮮各地を占め、戦乱勃発を動機に南洋、印度方面に^{きそく}驥^の足を展べ、日を^お逐^おふて益活躍しつつあり。

然^{しか}して、同社醸造の櫻^{さくら}ビールは当初^{ドイッ}独逸^つ式醸造^なに倣^{なら}へるものにして、其^{その}風味甘くして比較的苦味と酒精の刺戟^{しゅせい}少^{すく}無く、婦女子と^{いへど}虽も口に適するの用意の下に醸造され、創立日尚ほ浅きに拘はらず数次の拡張により其^{その}醸造高五倍するの盛況を示し、其^{その}原料の如きは総て内地産にして、海外に原料の供給を仰ぎたる諸会社が^{このたび}這回^のの戦乱に多大の打撃を蒙^{こう}むりたるにも拘はらず、之を機会に販路を拡張し得たるは同社の^{ほこり}誇^いとする処なり。

因みに、同社本年上半期の決算左の如し

(単位：円)

資 産 之 部		負 債 之 部	
未払込株金	500,000.00	株金	2,000,000.00
地所	114,863.17	買掛金	55,462.75
興業費勘定	1,444,562.95	仮受金	6,744.49
同仮勘定	120,738.59	諸預り金	6,062.53
貯蔵品勘定	62,207.55	支払手形	824,103.81
材料品及貯蔵麦酒	526,028.03	借入金	500,000.00
売掛代金	661,619.71	未払金	150,222.73
受取手形	152,970.32	未払配当金	439.01
仮払金	19,971.45	法定積立金	14,500.00
諸預金銀行勘定	26,565.51	別途積立金	19,000.00
有価証券	1,548.30	前期繰越金	12,428.57
出張所勘定	23,359.74	当期利益金	65,836.01
金銀在高	364.58		
合計	3,654,799.90	合計	3,654,799.90

利益分配案

金 六萬五千八百^{さんじゅう}廿 六円〇一銭 当期利益金
〃 壹萬貳千四百^{にじゅう}廿 八円五拾七銭 前期繰越金
合計 金 七萬八千貳百六拾四円五拾八銭

内

金 参千五百円也 法定積立金
〃 五千円也 別途積立金
〃 五萬円也 配当金（年八分）
〃 参千円也 役員賞与金
〃 壹萬六千七百六拾四円五拾八銭 次期繰越金